

私が紹介したい認知症にやさしい本 2021 at 北山病院（京都市認知症疾患医療センター）

北山病院（京都市認知症疾患医療センター）では、世界アルツハイマー月間（9月）に合わせて、認知症を知るためにお勧めしたい書籍とその紹介文を職員から募集しました。応募のあったブックレビュー（書評）とともに、認知症に関する書籍をロビーに展示しています。



わたしが紹介したい

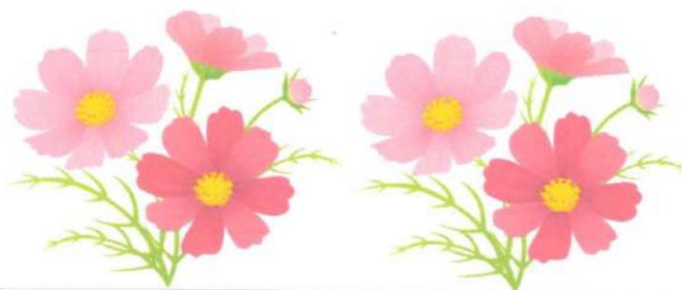
認知症にやさしい 2021 ブックレビュー用紙

本のタイトル	スペシャリストが教える 認知症を合併している患者の診かた、関わり方
著者	成木迅・谷向仁 編

わたしが紹介したい この本のおすすめポイント

基本的な認知症の特徴、コミュニケーションの原則にはじまり、すぐ実践できる効果的な支援の具体例が図表入りで分かりやすく示されています。

認知症の身体合併症については、糖尿病、大腿骨骨折、腎臓病、心不全、肺炎、癌、白内障など各疾患の概要、それらを合併する症例に対するケアの注意点、事例紹介や不適切な対応例など、各専門家がわかりやすく紹介しています。他にも、せん妄や不眠への対応ポイント、認知症全般の診断基準と評価のポイント、認知機能スクリーニング評価、認知症患者への意思決定支援、退院支援などについても幅広く解説されています。職種を問わず、共通理解しておくべき内容が盛りだくさんです。是非お勧めしたいと思います。



ひとことコメント

医療や福祉その他領域を問わず、認知症の方について共通理解を持って支援することが大切であると改めて感じました。



このブックレビューを書いた人のお名前：北山病院 作業療法士 宮竹 弘揮
(仮名でもOKです)

わたしが紹介したい

認知症にやさしい **本** 2021 **ブックレビュー用紙**

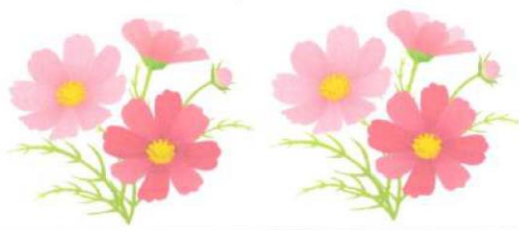
本のタイトル	認知症になっても人生は終わらない
著者	認知症の私たち(丹野智文他) 協力:NHK取材班

わたしが紹介したい この本のおすすめポイント



この本には 認知症と診断された方々の
様々な思いが書かれています。前向きな気持ちや
本音を知ることで、当事者として、家族として、

支援者としてなど、どの立場に立っても
一緒に乗り越えるヒントが書かれていると
思いました。



ひとことコメント

認知症の方々の声が少しでも多くの人に
届きますように...



このブックレビューを書いた人のお名前: 北山病院 相談室
(仮名でもOKです)

糸井 愛